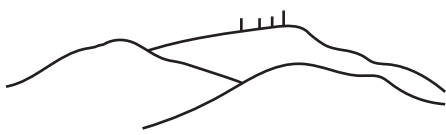


Youth Manna

2021/3/22 - 3/28



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/3/22(月)

Ⅰ 歴代誌 1:1-28

今日から歴代誌だね！歴代誌は、バビロン捕囚から帰還した後に書き記された書物だよ。帰還後、国を再建するのに多くの困難があった中、神様が本来自分たちに意図されていたことを確認し、これから先どのように歩むべきかの方向を示すことが、この書の書かれた目的だったんだ。

人類最初の祖先であるアダムから、系図が記されているね。創世記から聖書通読を始めた人は、思い出せる名前があるんじゃないかな？聖書通読も続けて取り組もう！

この箇所には私たちの知らない名前もたくさんあるけど、神様はその全てを覚えておられるし、今も同じ眼差しで私たちを見てくださっているよ。

自分の名前も、神様の書物に書き記されていることを覚えて(ルカ 10:20)、今日も神様の前を歩もう！

2021/3/23(火)

Ⅰ 歴代誌 1:29-54

今日は信仰の父と呼ばれるアブラハムの系図から始まっています。そばめハガルによって産まれたイシュマエルの子らや、そばめケトラの子孫、また神様の祝福を軽視して「レンズ豆一杯」で長子の権利売ってしまったエサウの系図が続いて記されています。人から見れば追い出されたそばめの子達、祝福から外れたエサウをも神様は心に留めて子孫を与えておられます。またレンズ豆で長子の権利を騙し取るような者であったヤコブの名前がイスラエルとして記され、神様の取り扱いによって変えられて祝福を受け継ぐ者とされたことが現されています。このヤコブの名前がイスラエルと国の名前になることは、なんと凄いことだろう！！

自分がどんなに罪深く小さく思っても、神様は心に留めて覚えてくださっていることを感謝しよう！！

2021/3/24(水)

Ⅰ 歴代誌 2:1-20

これからしばらく、イスラエル諸部族の系図が語られていく。まずダビデへの系図が示されるのは、後のユダ王国へのつながりが意識されているからである。また、歴代史の時代には、北王国は滅亡して部族としての存在は消え失せているが、著者は神の意図された民の姿はやはり12部族であると、12人を列挙することで示している(1-2)。そしてユダの子孫の歩みが、ダビデに至るところまで語られている。神はダビデを選ばれたが、それはユダの一族が良き民だったからではない。多くの課題を抱えていたが、神が用いてくださったのである。

神のみわざの偉大さを思い、感謝しよう！

2021/3/25(木)

Ⅰ 歴代誌 2:21-41

今日の箇所も昨日と同様に、ユダの諸氏族の名前が淡々と書かれている。そして明日の箇所もそうである。今日の箇所の中に知っていた、覚えていた人物はいるだろうか？

おもだった人にばかり私たちの目は行きがちだが、神様は全ての人に目に留めておられる。

計り知れない神様の深さ、計画に今日も感謝しよう！！

風呂の日

2021/3/26(金)

Ⅰ 歴代誌 2:42-55

▶2章では、ヘツロンの3人の息子(ラム、エラフメエル、カレブ)の子孫をみてきた。ラムの子孫からはダビデが産まれてたね。今日はその最終回でカレブの子孫について書いてある。カレブはヨシュアと一緒に約束の地を調べた人ではないから注意しよう！参考：

【アブラハム→イサク→ヤコブ→ユダ→ペレツ→ヘツロン→カレブ】

▶51節にベツレヘムの父サルマとあるね。ベツレヘムはダビデやイエスが生まれた土地として有名だよ。サルマさんという人がベツレヘムの町をつくったんだ。他にもヘブロン(42)やキルヤテ・エアリム(50)も地名として有名だ。スマホの聖書があったら検索してみよう！

▶良く読むと神様の計画の大きさを感じるよね。そんな神様を賛美しよう！

2021/3/27(土)

Ⅰ 歴代誌 3章

今日の箇所はダビデの家系が書かれているね。ダビデが王様になる前に生まれた子どもたち、王様になった後に生まれた子どもたち、合わせて息子は19人。

王様の子は多い方がその家は安泰だって世間からは思われるけど、何人もの奥さんから生まれた子どもたちは、そんな自分の親たちの姿を見て育っていったんだ。結果的に起こった問題もたくさんあった。

王様の権力も、国自体も神様によってしか成り立たないんだ。そしてダビデの系図はイエス様へとつながっていくけれど、その権力は目に見える国だけで治らないものだったね。

神様の導きの中に私たちの人生も、国も、世界もあることを覚えてそのみこころを求めていこう！

2021/3/28(日)

Ⅰ 歴代誌 4:1-23

10節でヤベツは「私を大いに祝福し、私の地境を広げてくださいますように。」と神様に祈っています。

みんなは自分の祝福のために祈ることをどう思うかな？こんな風に祈って良いのかなと思う人もいるかもしれないね。

でも、私たちは本来、神様によって支えられ、祝福されなければ生きていくことすらできないと認めるなら、ヤベツのこのような祈りは最も基本的な祈りのはずです。

私たちは、神様から受けたものでなければ良いものを流すことは出来ません。この地で祝福となるよう置かれている私たちは、大胆に自分が神様によって祝福されることを祈り求めていきましょう！